

令和4年度第2回大府市子ども・若者支援地域協議会議事録（要約）

日時 令和4年10月17日（月）午後3時30分から午後5時まで

会場 大府市役所 全員協議会室

出席者 （協議会委員）※敬称略

会長 山田武司、副会長 來多泰明、間瀬政和、更谷春佳、杉原直樹、三好清加、時安利栄、池田久絵、井戸千尋、外波祐二

欠席者 木田隆顕

（事務局）※所属順

福祉部長 猪飼、福祉総合相談室長 小清水、福祉総合相談室主査 藤原、福祉総合相談室主任 山下、地域福祉課長 長坂、子ども未来課長 間瀬、学校教育課指導主事 伊賀、学校教育課スクールソーシャルワーカー 山田、適応指導教室レインボーハウス代表 蟹江

（傍聴者）1名

1 会長挨拶

2 議題

（1）中学校卒業後の相談先について（資料No.1）

ア 令和3年度不登校生徒の進路状況（市内4中学校）

資料に沿って事務局から説明

イ 令和元年度から令和3年度の年度ごとの年齢別内訳（専門相談からみる当事者の年齢別割合）

資料に沿って事務局から説明

委員）

- ・中学校で相談員をしている。1、2年生に対してはスクールカウンセラーにつなぎ、3年生に対しては市内や近隣のクリニックを探しておくことや通院することを提案している。別の中学校でも同じように対応し積極的に次につなげていけると良いのではないかと思っている。
- ・適応指導教室では、自分のペースで通える高校を選択できているが、全日制の高校を選択する生徒の中にはリタイアする生徒がいると思う。中学校での進路説明会はあるが、不登校の生徒たちに向けての進路相談会を開催し、システムや体験談聞くことができれば先を見通せるのではないか。追跡調査は無理なので、卒業間近でも良いので相談先を把握してもらうことが大事だと思う。
- ・クリニックを勧めると病気だと扱われたように感じてしまうので、クリニックに限らず教育センターや大学の相談室など、いくつか知らせても良いのではないか。
- ・福祉総合相談室を紹介すると、必要であれば受診を紹介される。前出の進路説明会の提案に対して市としてはどのように考えるか。

事務局）

- ・福祉総合相談室についての周知が十分ではない状態なので、より端的に伝える必要性を感じている。

委員）

- ・提案のあった不登校生徒を集めた進路説明会は可能か。

事務局）

- ・学校教育課が主体となって考えていける内容だと思うので検討したい。

委員)

- ・名古屋市伏見辺りで不登校支援ガイダンスをやっていたが、最近はネットで情報を集めることができる。私立の学校を公的なところが集めるのは難しいかもしれない。
- ・知多市は市福祉部が開催し、東海市では親の会が開催した。公立の学校のことだけでも大府市内で開催してもらえると、より身近な情報が得られると思う。
- ・知多市や東海市では、不登校生徒だけでなく、関心のある人や地域住民も参加していた。当事者家族だけでなく幅広く情報を提供すると、安心できる地域になっていくと感じる。
- ・福祉総合相談室での相談について、PR 方法の提案はないか。
- ・年 2 回ほど、学校保健委員会が校内で開催される。全校生徒に話しをしてもらえる機会がある。福祉総合相談室から説明に行くのはどうか。
- ・学校に子どもがいる時間帯に働いている保護者が多い。期間を限定して配信されるような動画を URL で伝えると、興味はあるものの参加できない保護者にも情報が届くのではないか。
- ・高校入学後、学習面での躓きがあり私立高校や定時制高校に転校する生徒もいる。高校は市外に住む生徒も多いので、中学校のうちに相談先を伝えておくことが大切だと思う。
- ・親の立場としては、中学校卒業後に不安になる。卒業ギリギリの段階ではなく、1 年くらい前から情報提供されると良いと思う。
- ・ちた地域若者サポートステーションで行っている学習支援では、高卒認定を目指すだけでなく、分からないことを聞けるメリットがある。大府市で高校卒業後の学習支援を手厚くすると良いかもしれない。
- ・名古屋市で学習支援に関わっている。経済困窮者が対象で外部委託によりボランティアや NPO 法人が週 1 回、10 年程行っている。大府市でも開催すれば NPO 法人が受けてくれるのではないか。

(2) 年齢を問わない支援のあり方について (資料 No. 2)

資料に沿って事務局から説明

委員)

- ・ちた地域若者サポートステーションでは、対象が 49 歳まで。半田市では社会福祉協議会につなぎ、仕事以外のこともサポートしてもらっている。
- ・高齢者相談支援センターが構成員になると良いのではないか。

事務局)

- ・就労できないという状態になると生活困窮の課題が出る。大府市では地域福祉課が対応している。

3 情報交換

委員)

- ・知多市では「フリースペースまな」で、居場所づくりをしている。ゲームをして過ごしたり、料理を作ったり、近所の神社に散歩したりして何気ない関わりをしている。会議室の中より会話が弾む。参加者の笑顔が大切だと思う。

事務局)

- ・平成 23 年から 25 年頃、武豊町中央公民館でも同じようなことをやっており、参考にしたいと思っ

討したことがある。

4 報告事項

<進行：事務局>

事務局)

- ・大府市子ども・若者支援研修会を11月5日（土）に予定している。受付は開始している。
- ・第3回大府市子ども・若者支援地域協議会は、令和5年2月10日を予定している。